

こがくぼう -古河公方公園- 公園だより



2024年2月号
【発行】
(一財)古河市地域振興公社
古河公方公園(古河総合公園)
茨城県古河市鴻巣399-1
電話0280-47-1129

■ハナモモの管理(特定外来生物クビアカツヤカミキリの対応)について

■ここ数年、バラ科の樹木(ソメイヨシノやハナモモなど)特定外来生物クビアカツヤカミキリの被害が広がっています。この昆虫は繁殖力が強く、成虫になると、1匹のメスが多い時で千個もの卵を産み付けてしまいます。孵化した幼虫は、生きた樹木の中を食い進み、やがて木を枯らしてしまいます。古河公方公園でも、2019年に被害が確認され、それ以降、公園の象徴的樹木であるハナモモを守るために、日夜徹底した対策を行っています。特に、この昆虫は冬になると幼虫が木の中で越冬し、春になると活動を始めるため、冬の時期に実施する対策が重要となってきます。被害がひどいハナモモに関しては、伐採伐根し、限定的な被害のものは、被害部分を大きく剪定し、剪定部分に薬剤を塗り、木が傷まないよう処置をします。そうすることで、切り株から新芽を育てる萌芽更新(ぼうがこうしん)※を促し、木を再生させることを目指しています。古河公方公園のハナモモを2,000本にする、という目標に向けて、現在奮闘しておりますので、みなさまのご理解とご協力をお願いいたします。



越冬している幼虫



1本の花桃に巣くう
18匹もの幼虫たち



萌芽更新のための剪定

※萌芽更新(ぼうがこうしん)とは?
広葉樹に見られる現象の一つで、樹木伐採後の切り株から新しい芽が出る現象のことです。根が一緒のまま、幹がクローンとして新しく成長します。特徴としては、種から育てるよりも生長がはやく、樹木の素早い回復が期待できます。

■ハナモモの植樹準備について



ハナモモ植樹のための支柱

■古河市による花桃の植樹の準備が始まりました。花桃2,000本という目標に向けて、古河市で植樹する他、花桃オーナーや寄付の植樹も合わせると、およそ100本ものハナモモを植樹する予定です。

■民家園防火訓練 1/26

■1月26日、古河市が民家園で文化財の火災を想定した防火訓練を行いました。実際に放水銃を使用し、市役所、シルバー人材センター、地域住民、公園管理者で協力して消火訓練に当たりました。



放水銃による訓練

★古河公方公園公式アカウントを開設しました!
公園の様々な情報をアップしていますので、是非みなさまフォローをよろしくお願いいたします。
・Instagram @koga_kubou
・X(旧Twitter) @kubou_park

■公園朝市について

■1月の公園朝市は、残念ながら荒天のため中止になりました。次回、古河公方公園で開催する3月の公園朝市は、3月2日、3日の2日間、ドッグフレンドリーフェスタと同時開催いたします。みなさんお楽しみに!

■園内整備について
●樹木の伐採について
枯損した樹木や害虫に食害された樹木を剪定・伐採しています。作業中は危険ですので近づかないよう、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。
また、再利用できる部分はチップ化して園内の必要な部分にリサイクルしています。
●四阿の修繕
北西にあるラン塔の四阿の土台部分が腐朽し危険なため、水はけがよく、風通しがよくなるよう修繕いたしました。新しくなった四阿をどうぞご利用ください。



チップ敷き

Instagramアカウント

X(旧Twitter)アカウント

○公園だよりは公式ホームページからもダウンロードできます。